

### 【一般財団法人同友会 法人目標】

- ① 24時間、迅速急性期医療と専門性を持つ医療の充実
- ② 医療、保健、福祉における包括サービスの提供
- ③ 地域コミュニティ形成を目指す健康増進の推進
- ④ すべての職種に対する医療者としての教育、研修の場の確立

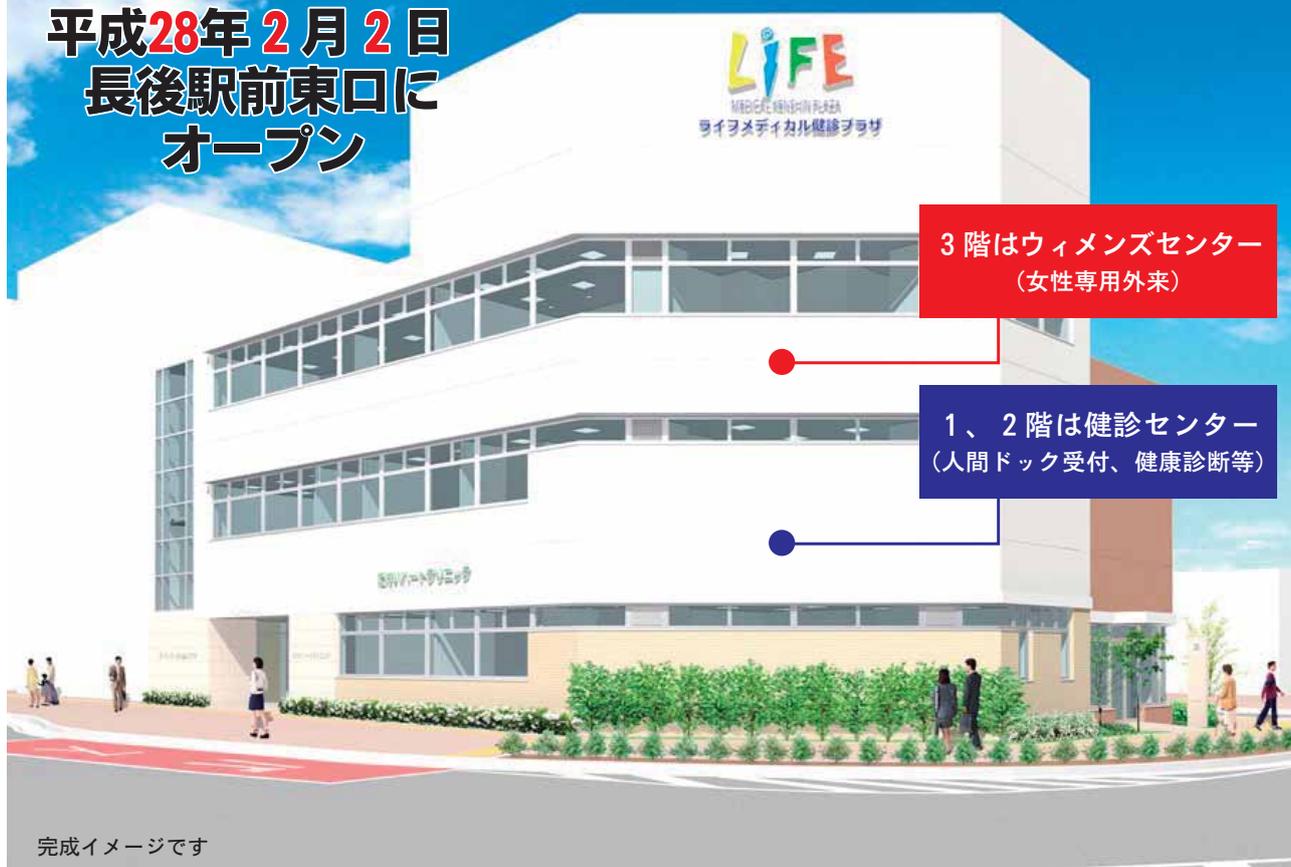
### 【藤沢湘南台病院 病院理念】

- ① 信頼とやすらぎのある医療
- ② 専門性と倫理観のある医療
- ③ 地域に貢献する医療

一般財団法人同友会  
藤沢湘南台病院  
藤沢ケアセンター  
藤沢訪問看護ステーション  
居宅介護支援センター  
藤沢市長後地域包括支援センター  
(長後いきいきサポートセンター)  
ライフメディカルフィットネス

## ライフメディカル健診プラザ

平成28年2月2日  
長後駅前東口に  
オープン



3階はウィメンズセンター  
(女性専用外来)

1、2階は健診センター  
(人間ドック受付、健康診断等)

完成イメージです

### 「ライフメディカル健診プラザ」 の(1)案内

現在、藤沢湘南台病院内にある健康管理センターと婦人科外来等が移転し、オープンする施設です。

建物は、明るく清潔で健康をイメージする外装です。内装は落ち着いた色のあるベージュ、ウッドカラーでコーディネート致しました。

1、2階は人間ドック、企業検診、健康診断、各種検診、予防接種など地域の皆様の健康管理を担う業務を行います。3階は女性専用フロアとして、婦人科、乳腺外科、肛門外科の診療科を標榜します。

施設内には、病気予防と早期発見を目的にデジタルマンモグラフィ、マンモグラフィ診断支援装置、レーザー内視鏡、超音波診断装置などの医療機器を導入予定です。これらの機器は検査を受ける方のことを考えた、やさしく使いやすいものになっています。

またこの施設は、藤沢湘南台病院併設の健康増進施設ライフメディカルフィットネスと連携をしながら、地域の皆様の健康増進を図ることを目的としています。そして皆様の健康寿命に少しでも寄与できればと考えています。

是非とも、この施設をご利用頂きますようお願い致します。



鈴木理事長・総院長

## 「2016年を迎えて」

一般財団法人同友会 理事長  
藤沢湘南台病院 総院長 鈴木 紳一郎

明けましておめでとうございませう。地域の皆様にかれましては、健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

### 気になった昨年の出来事

「イスラム国」を名乗るグループが日本人2人を人質にとり殺害した事件が年の初めに発生しました。11月にパリで起こった一般人を狙った同時多発テロも、世界的な大きな衝撃として記憶に残る出来事でした。日本人もテロとは無縁ではなく、テロとどう向き合うか考えさせられる時代になったと感じました。また戦後70年の節目を迎え、安保関連法案の成立があったこと

から、日本国、そして日本人が戦争に巻き込まれるのではないかと不安がよぎった方もいたのではないのでしょうか。火山の噴火や記録的豪雨の被害などの自然災害もあり暗い出来事が多かった年でしたが、ラグビーのワールドカップでの日本チームの大活躍や2年続けて日本人がノーベル賞を受賞したこと、体操日本の37年ぶりの世界選手権金メダル獲得など明るいニュースもありました。

### 当法人における昨年の出来事

1番の出来事は、4月に山本裕司院長を迎えたことです。以前から院長就任20年を目前に病院に新しい風を吹き込みさらなる地域医療の貢献に向けてと考えておりました。その時横浜市大の先輩であり、大学時代は同じサッカー部に所属し、また同じ外科医としてよく知る病院運営の第一人者の山本院長が浮かび、三顧の礼を持って迎えました。私は院長

患者様に対する医療の質が一定の水準に保たれているかどうかを、第三者機関に評価をして頂きました。正式な結果はまだですが、受審日の講評では良い評価を頂いております。そして藤沢湘南台病院の医療の質を皆様に感じ取って頂ければ幸いです。またこの受審に向けて、職員が一致団結して同じ目標に向かって取り組んだことは大きな財産だったと感じています。

さらに昨年を振り返ってみますと、接遇の向上を図るため4月にCS（顧客満足度）推進課を立ち上げ、私の直轄部署と致しました。この部署が中心となり職員の研修・教育等を行ってまいりますので、今後の職員の応対を気にかけて頂ければと思います。6月にはホームページのリニューアルを行い、病院の情報等を検索し易く、見やすいものに致しました。また駐車スペースが不足していた迷惑をお掛けしておりましたが、8月には病院北側を中心に新たなスペースを確保し、また同時に敷地内全体の駐車場整備を行いました。さらに9月には会計処理の迅速化を図るため外来会計に自動精算機を設置致しました。

### 当法人の今後の予定

院内にあった健康管理センターを長後駅前東口へ移転し、2月にリニューアルオープン致します。クリニック名を「ライフメディカル健診プラザ」と命名し、藤沢湘南台病院併設の「健康増進施設

ライフメディカルフィットネス」と連携します。1、2階は人間ドック等の健康診断を行い、3階は女性専用クリニックとして婦人科、乳腺外科、肛門外科の診療科を標榜します。駅前の立地で女性にも気軽に来て頂けるよう考えております。また、リハビリテーション室の院内移転を進め、さらに平成30年を目指しICUの開設に向けた準備を行ってまいります。そしてこれらの取り組みを通じて、地域の皆様には選ばれる病院施設になるよう努力してまいります。

### 藤沢市医師会会長に就任致しました

私ことになりましたが、昨年6月に藤沢市医師会会長に就任致しました。藤沢市にお住いの市民の皆様が健康で明るい日常生活が送れるよう、「かかりつけ医の定着」、「地域内の看護師不足の解消」、「行政・スポーツ関係団体との連携を図る」等を課題に掲げ取り組んでいます。そして皆様の健康寿命が延び、住みやすい街になるよう努力致します。

### 最後になりますが、

地域医療に貢献するため私を始め職員が一丸となって今年も取組んで参りますので、引き続き皆様のご支援を宜しくお願い致します。今年1年が皆様にとって良き年になりますよう祈念致します。新年を迎えるの挨拶とさせていただきます。

# 「明けましておめでとうございます」

藤沢湘南台病院 院長 山本 裕司

昨年は皆様にとつてどう  
いう年であったでしょうか？  
**昨年の当院の最大イベント**  
11月に日本病院機能評価  
機構の認定更新の審査を受  
けたことだと思えます。病  
院職員が一丸となって審査  
の準備をし、乗り切れたこ  
とはプロジェクトチームが  
リーダーシップを発揮して  
くれたお陰もありますが、  
なんとと言っても職員の結束  
が大きな理由だと思えます。  
職員全体が一つの目標に向  
かったときの結束力は素晴  
らしいものがあるし、この  
病院の強みの一つだと誇り  
に思っています。

昨年9月に実施し、その結果内容にお  
いて救急受け入れが十分でなかったり、  
受け入れが決まるまで時間がかりすぎ  
る等の意見がありました。おそらく救急  
隊からの意見も同様と思えます。これ  
は上述した病院の能力を十分に発揮して  
いるとは言えません。昨年の近隣救急隊  
からの救急車受け入れ率は約30%と低  
く、今年も地域の中核的病院として50%  
70%を目標にしたいと思っています。そ  
れには職員の「気持ちよく（救急患者を）  
受ける」、「法人内の連携を良くする」と  
いう意識の醸成が重要と考え、今年の日  
標の一つとしています。

も立ちません。すなわち、地域住民や医  
療機関に満足していただける医療を提供  
して行くことが大事と思っています。

**地域医療機関に向けて  
アンケートを実施**  
昨年9月に実施し、その結果内容にお  
いて救急受け入れが十分でなかったり、  
受け入れが決まるまで時間がかりすぎ  
る等の意見がありました。おそらく救急  
隊からの意見も同様と思えます。これ  
は上述した病院の能力を十分に発揮して  
いるとは言えません。昨年の近隣救急隊  
からの救急車受け入れ率は約30%と低  
く、今年も地域の中核的病院として50%  
70%を目標にしたいと思っています。そ  
れには職員の「気持ちよく（救急患者を）  
受ける」、「法人内の連携を良くする」と  
いう意識の醸成が重要と考え、今年の日  
標の一つとしています。

ものと信じてい  
ます。この評価  
は機構から、病  
院として安心安  
全な医療を提供  
する能力を有し  
ているというお  
墨付きをもらっ  
たことです。能力  
は有していても  
それを発揮しな  
ければ何の役に  
も立ちません。すなわち、地域住民や医  
療機関に満足していただける医療を提供  
して行くことが大事と思っています。

**ライフメディカル健診プラザの開設**  
長後駅東口側に病院の健診部門に加  
え、女性専門外来として婦人科、乳腺・  
肛門科の診療科を標榜する「ライフメディ  
カル健診プラザ」を2月に開設します。  
女性外来では女性医師・女性スタッフが増  
診察や相談を担当します。働く女性が増  
え、今まで経験したことのない過度のス  
トレスや疲労も増加し、現在の臓器別診  
療では対応できない女性特有の症状も増  
えて来ているようです。まずは、婦人科、  
乳腺・肛門科としてスタートしますが、  
将来的には女性特有の症状に対応できる  
女性外来にしたいと考えています。それ  
らの対応で病院とプラザの間で機能分担  
が生じ、スタッフの確保も必要となるた  
め、病院をあげてバックアップする所存  
です。

**当院独自の制度「あんしん連携カード」**  
2014年の診療報酬改定において  
亜急性期病棟制度の廃止に伴い、地域  
包括ケア病棟の新設や在宅療養後方支  
援病院制度が施行されました。今後高齢  
化が進み、死亡者数が増加するにもかか  
わらず、病床数は増加せず、介護施設や  
高齢者住宅が増える見込みがない現状で  
はどうしても在宅による看取りが増加す  
ると思われれます。2017年に発足する  
新専門医制度に於いて新たに総合診療  
専門医を設置するには、こうした在宅診  
療を行ういわゆる家庭医の育成が急務で  
あるとの方針です。

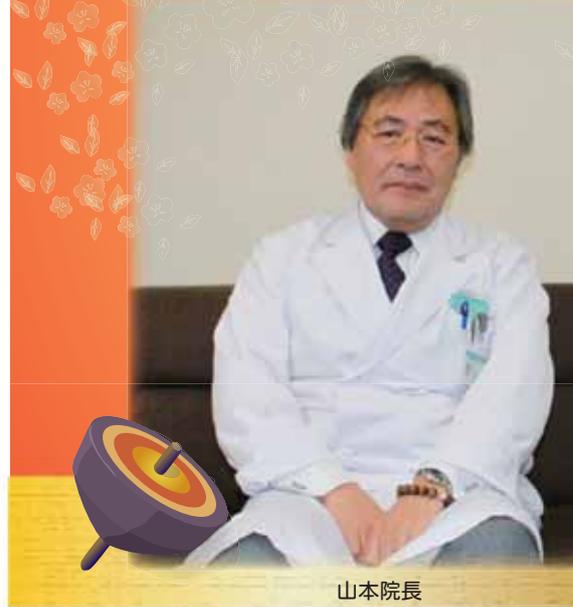
当院では今後在宅療養中の患者が急  
性期疾患に罹患した場合、積極的に受  
け入れるべきと考えています。それが地  
域で急性期を担う病院の役割でもあり、  
在宅療養後方支援病院としての使命です。  
それに対応するため始めた地域医療を支  
える「あんしん連携カード」なる素晴ら  
しい制度が当院にはあります。

これは診療所、病院間で情報共有可  
能な患者様にカードを発行し、このカー  
ドをお持ちの患者様に関しては緊急時に  
はいつでも当院で対応するという制度で  
す。同時に在宅療養後方支援病院とし  
て在宅診療を担う家庭医との2人主治  
医体制を構築し、診療情報の共有を医  
療側だけでなく、介護・福祉との情報を  
共有する必要があります。今年は北部ネッ  
トワークを通じた病、病連携、「あんし  
ん連携カード」に代表される病、診連携  
に加え、介護・福祉および行政との連携  
体制も構築したいと考えています。

**最後になりますが、**  
今年1年、地域の皆様に当院への満  
足度がさらに向上するよう病院職員一丸  
となつてがんばる所存です。昨年同様、  
皆様のご支援の程宜しくお願い申し上げ  
ます。皆様にとつて、  
良い年であると同時に  
に記憶に残る素晴ら  
しい1年であることを  
祈念いたします。



# A Happy



山本院長

ものと信じてい  
ます。この評価  
は機構から、病  
院として安心安  
全な医療を提供  
する能力を有し  
ているというお  
墨付きをもらっ  
たことです。能力  
は有していても  
それを発揮しな  
ければ何の役に  
も立ちません。すなわち、地域住民や医  
療機関に満足していただける医療を提供  
して行くことが大事と思っています。

ものと信じてい  
ます。この評価  
は機構から、病  
院として安心安  
全な医療を提供  
する能力を有し  
ているというお  
墨付きをもらっ  
たことです。能力  
は有していても  
それを発揮しな  
ければ何の役に  
も立ちません。すなわち、地域住民や医  
療機関に満足していただける医療を提供  
して行くことが大事と思っています。

# ライフメディカル健診プラザ

●●●● オープン前の施設内を少しお見せします ●●●●



1F 受付・会計



2F 健診センター



3F ウィメンズセンター



